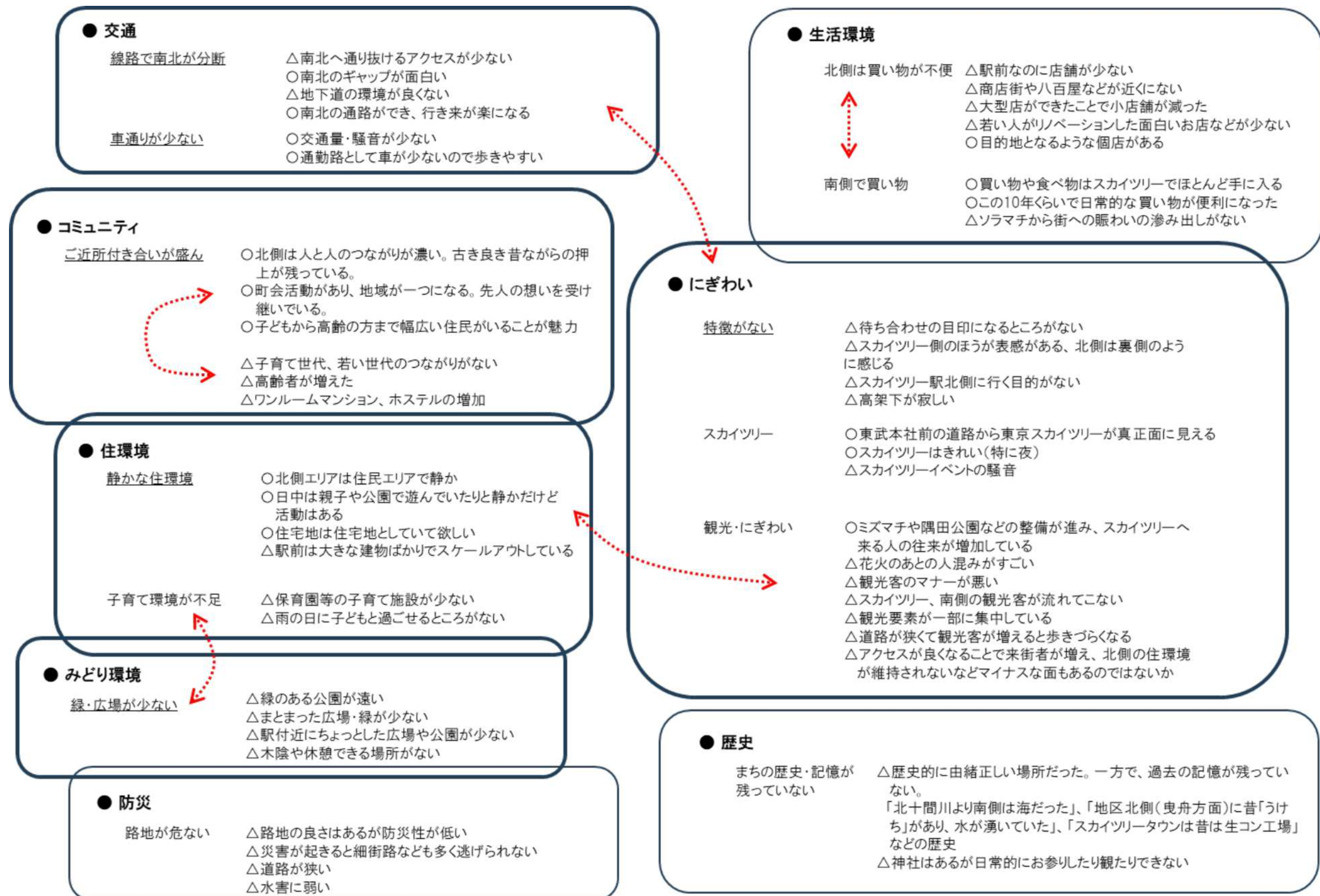


第1回ワークショップ | グループワーク1「いまの押上北口を語ろう」



第1回ワークショップ | グループワーク2「将来の“駅まえ”の風景を想像しよう」

○：意見の多かったもの
 <----->：関係しているキーワード



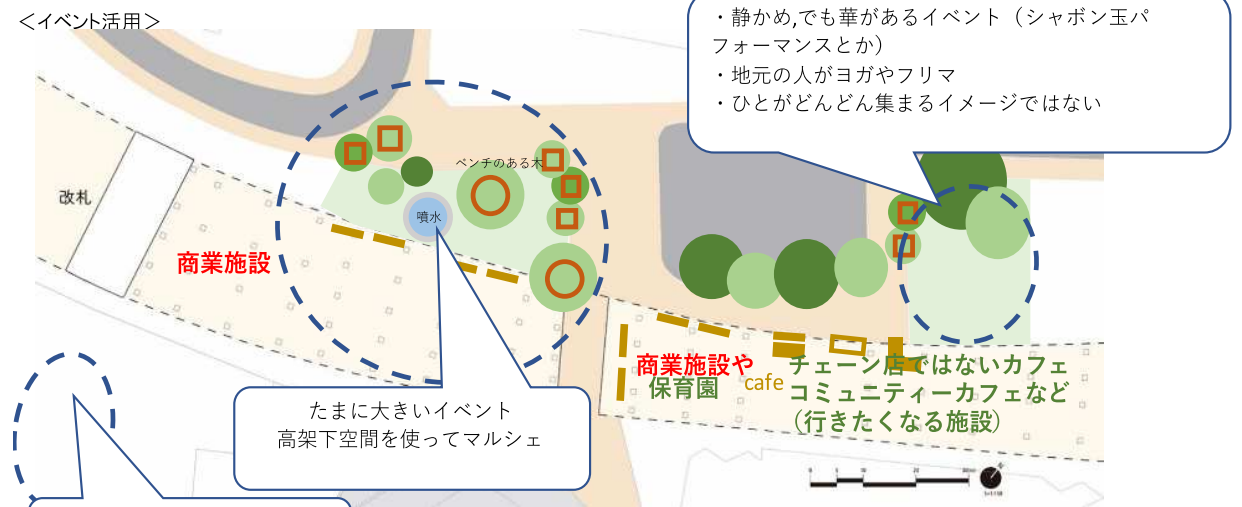
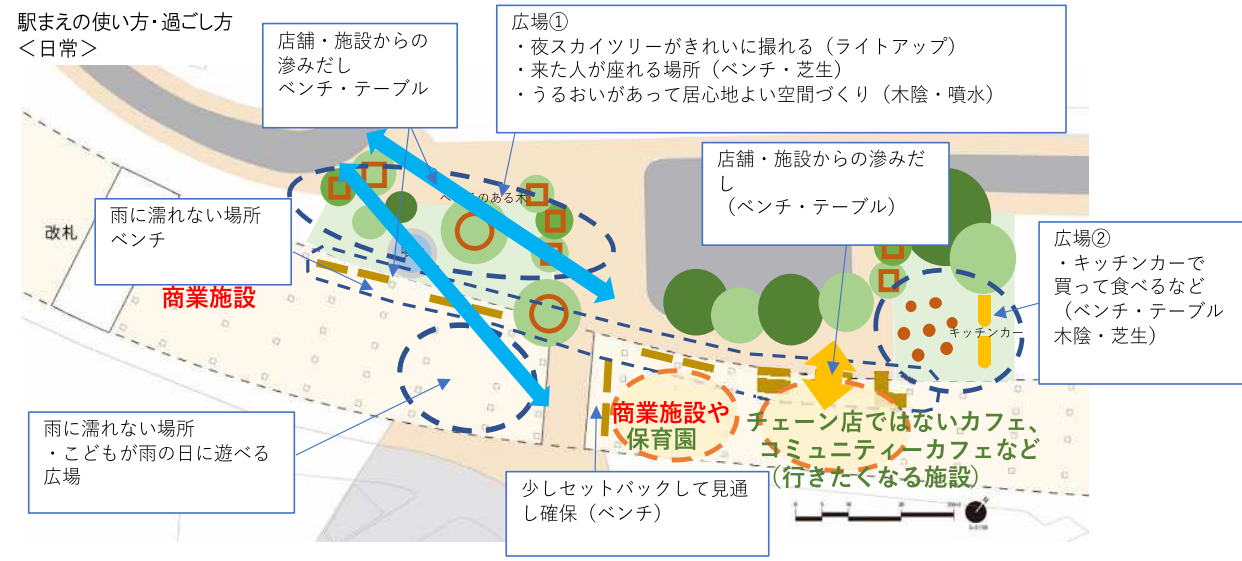
第2回ワークショップ | グループワーク「“駅まえ”の使い方、広場のコンセプトを考えよう」

グループ

1

広場名: キーワード: たまれる、うるおい、過ごしやすい広場(スカイツリータウンとは違う場所)

	平日の風景	イベント時の風景
誰が?	こども、地元の人、高齢の人	地元中心の人たち
何をしています?	ふんすい、緑と木陰で過ごしている	イベント
両風景にある要素	※うるおいや過ごしやすさを阻害する要因 「鉄道の音」「外からの人」「雨」「暑い日ざし」・・・ こうしたものから守られる場所	



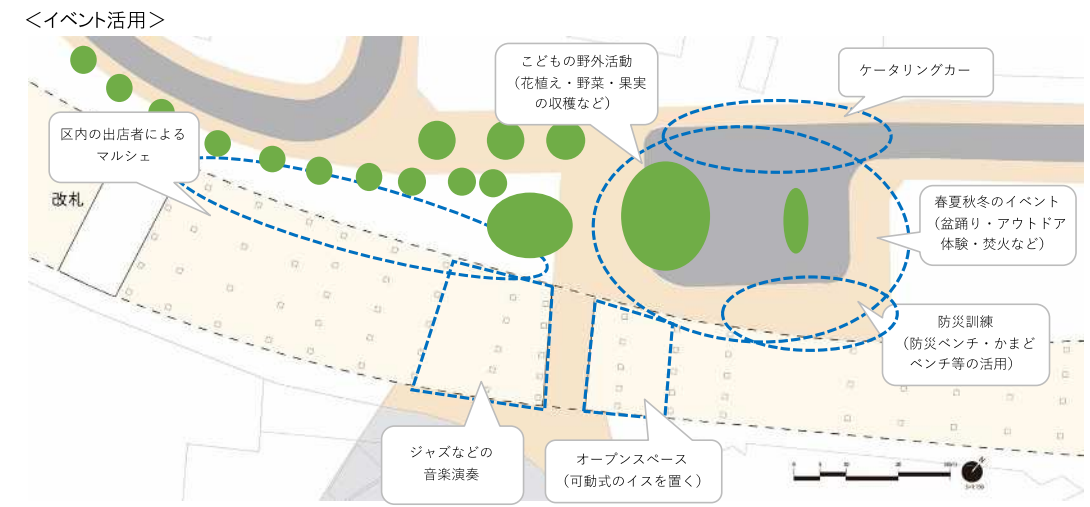
その他意見: ・スカイツリータウンとは違う役割

グループ

2

広場名: 四季を楽しむヤママチ広場

	平日の風景	イベント時の風景
誰が?	色んな人	子どもなど多様な人々
いつ?	いつも	春夏秋冬
何をしています?	緑豊かなベンチや広場空間で日常を過ごす	四季を楽しめるイベントに参加している



その他意見: 季節感のある広場にしたい
自然に触れる(どろんこ遊び、水遊び、雪遊びなど)ことができる広場にしたい
隅田公園とミズマチからのグリーンロードをつなげていく、ソラマチとは異なるグリーンシティとする
道路と広場は段差等がなく、多様な活用ができるようにしておく
ヒューマンスケールなまちにする
地域住民に受け入れてもらうためには、騒音やごみの対策はきちんと考えておく必要がある

第2回ワークショップ | グループワーク「“駅まえ”の使い方、広場のコンセプトを考えよう」

グループ

3

名： みどりの中之郷(※広場ではないという意見だったため広場という文言削除)

	平日の風景	イベント時の風景
誰が？	①タクシーが常に止まっていない(止めない)	車は入ってこない
いつ？	②まちのひとが疲れた時に木陰で休む	・休日に地域のひとによる朝市
何をしています？	③(東武の敷地も含めて広く使えるならば)地域のひとがオープンテラスで憩う ④(東武の敷地も含めて広く使えるならば)車両を展示し交通公園で子供が乗ったり座ったりして遊ぶ	・休日に職人・工芸・展示・販売 ・大道芸、落語(駅の改札口寄り)で行う ・(祭りのおみこし ※コンサートはNG、地域活性化になるイベント

駅まへの使い方・過ごし方
<日常>



<イベント活用>



- その他意見：
- ・ロータリーは誰が使うのか、そもそも誰のためのものか？(今でも車はほとんど通っていないのに)
 - ・地域で運用のルールを決めるのが良い(時間や曜日で車両を通行止めにして人のための広場にするなど)
 - ・不特定多数の人(観光客等)が押し寄せるのはNG
 - ・高架下に保育園が欲しい
 - ・路地や古い建物などを残す(墨田区は古いものを壊してしまう。)
 - ・高架下の店舗はチェーン店が殺風景にならぶのはNG。墨田区内の職人などが出店できると良い。
 - ・にぎやかにするならスカイツリー側(南側)で、北側は住宅地なので静かな環境を守りたい。

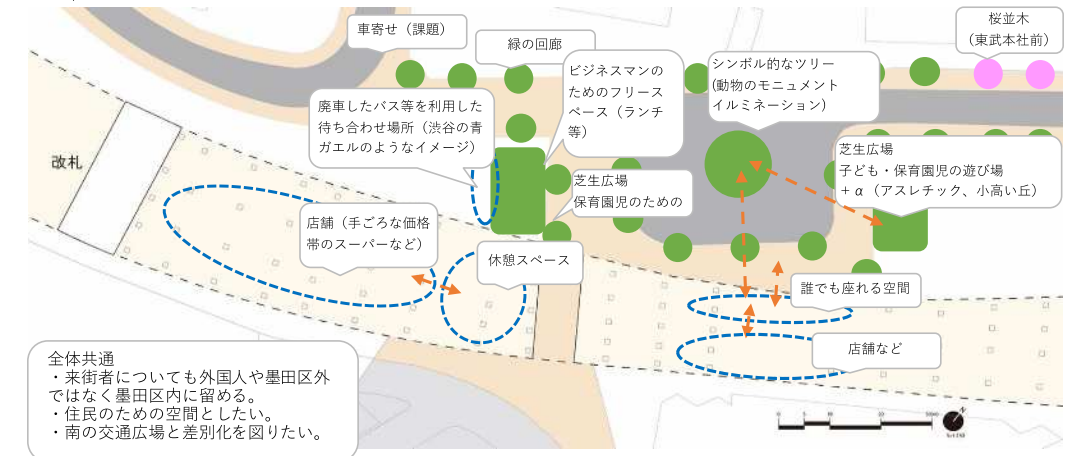
グループ

4

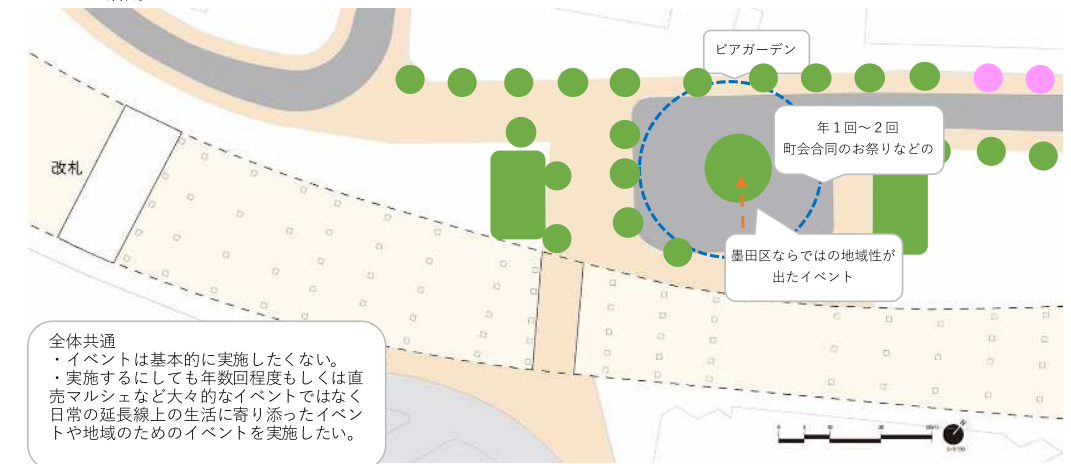
広場名： すみだみどりの広場

	平日の風景	イベント時の風景
誰が？	地域の方々・地域で働く方々が	地域の方々
いつ？	いつも	シーズン毎に(年一回くらい)
何をしています？	思い思いに過ごしている。 ・緑の多い過ごしやすい場 ・地域の人うれしいコトがある。 (直売マルシェ、子どもが遊べる場)	地域のお祭りなどをおこなっている。 ・地域のためのイベントを 地域の方々がおこなっている。

駅まへの使い方・過ごし方
<日常>



<イベント活用>



- その他意見：
- ・来街者についても外国人や墨田区外ではなく墨田区内に留める。
 - ・住民のための空間としたい。
 - ・南の交通広場と差別化を図りたい。
 - ・イベントは基本的に実施したくない。
 - ・実施するにしても年数回程度もしくは直売マルシェなど大々的なイベントではなく日常の延長線上の生活に寄り添ったイベントや地域のためのイベントを実施したい。

第2回ワークショップ | グループワーク「“駅まえ”の使い方、広場のコンセプトを考えよう」

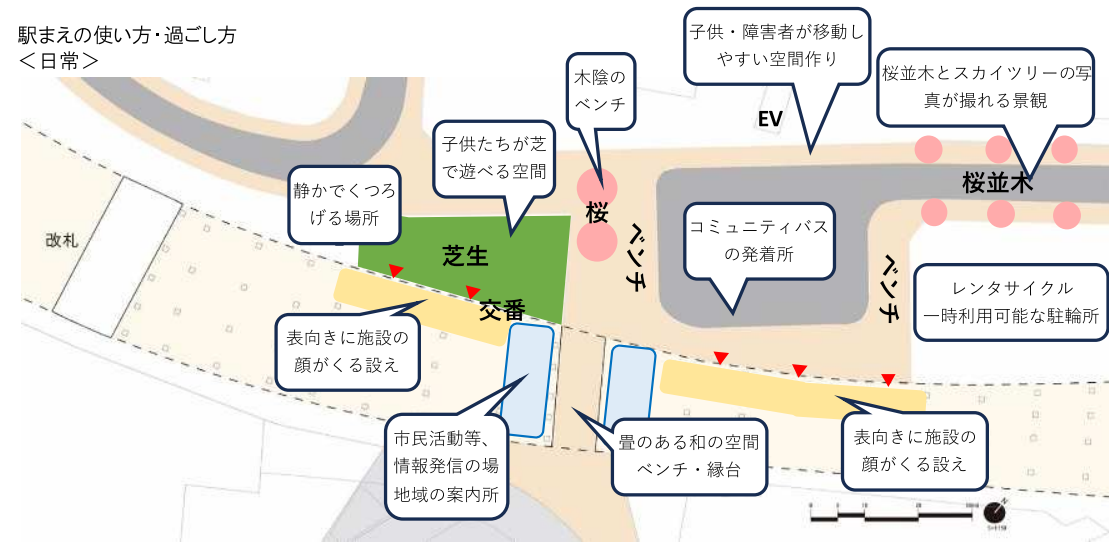
グループ

5

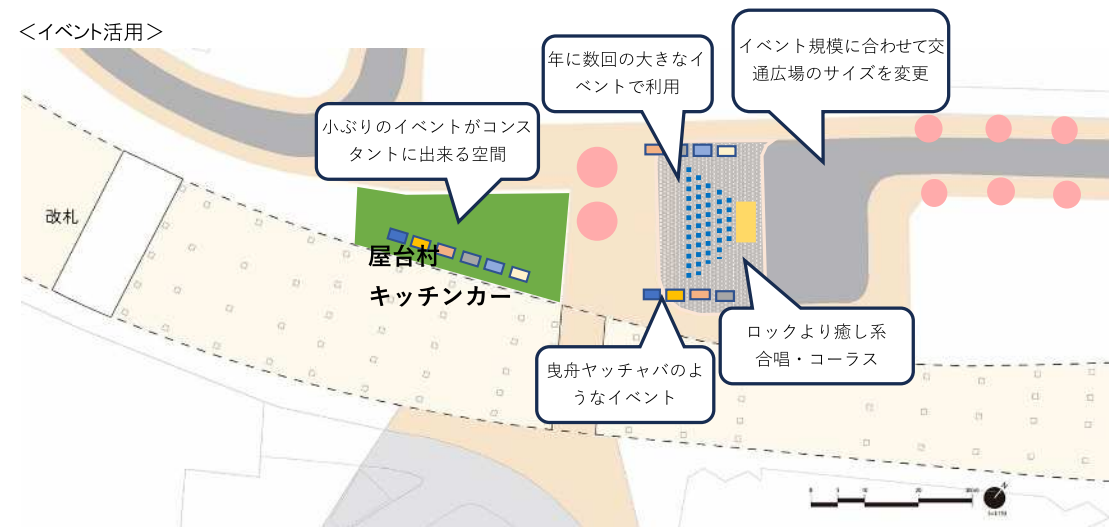
広場名: みんなのつくる場

平日の風景	イベント時の風景
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の案内所 ・市民活動「みんなが参加できる」 ・休憩・ひとやすみできる場(ベンチなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント・ステージ ・静かな、くつろげる、芝生のある場 (くつろぐ、癒し、憩い)

駅まへの使い方・過ごし方
<日常>



<イベント活用>



その他意見: 墨田区内の他の地域では、イベントなどをやりたい人が気づいたらやっていることが多いので、参加できるプラットフォームのようなものをつくってあげて、当事者意識を持って関わるとよいのではないかと。(=当事者意識が生まれる場)

資料編：各ワークショップにおける検討の概要

第3回ワークショップ | グループワーク「はじめの一步を考えよう」

グループ	活動アイデア	補足・備考
場づくり		
2	将棋盤を設置する	使わなくなった将棋盤を持ってきてもらう ⇒おじいちゃんから将棋を習う
2	畳を設置する(人工芝の代わりに)	使わなくなった畳、畳屋の畳を持ってきてもらう(畳を使った家が少なくなっている・畳屋の宣伝になるのではないか) ⇒寝転ぶことができる
2	使っていないイス・机を借りて設置する	学校には使っていないイス・机が多い ⇒DIYして再利用
5	可動式のイスやテーブルのあるオープンスペース	常設ではないベンチやプランターなら取り組みやすい
5	可動式のイスやテーブルのあるオープンスペース	ビールケースを裏返せばベンチになる(地元アサヒビールに協力)
5	可動式のイスやテーブルのあるオープンスペース	地元町工場に協力してもらい廃材でベンチやプランターが作れるかも
5	可動式のイスやテーブルのあるオープンスペース	ベンチだけではなく暑さをしのぐ日影を作れば更に利用されるとおもう
5	可動式のイスやテーブルのあるオープンスペース	利用者の年齢や利用時間等調査して今後の活動に活かす
イベント活用		
2	パレットを設置し、発表ステージを整備する	区内にパレットを大量に保有している民間企業がある(岡部株) ⇒地域貢献として借りる
2	大きな音を出せる空間を整備する	大きな音を出せる空間に限られているので、音を出せる場があると良いのではないか
2	見てくれる人がいる発表の場を整備する	駅前には通行人が多いので、見てくれる人が多いのではないか
3	大学との連携で学生の発表の場としてみたり子供の遊び場を仮設で作ってみたりする	
4	人目の多い駅まえですみだの伝統文化に触れられるイベント開催や屋台を出店	地元住民が中心に手軽に持ち運べる屋台(マイクロ屋台)を自身で作成し、それを駅まえに設置し、すみだの伝統文化等を発信 大規模イベントは住民が参加しづらいが、自身で作成可能で持ち運び便利マイクロ屋台はイベント参加へのハードルを下げることができ、住民の活動が活発になると推測される。 また、屋台は様々なコンテンツとの相性が良いため、より多くの交流を生み、検討地区の良さを知ってもらう循環を生みだすと考えられる。
4	着れなくなった子供服等を品として小規模フリマを開催	休日等に地元住民が駅まえにフリマを開き、子どもが着なくなった服等を出店する 駅周辺は保育園が数多くある環境であるため、役目をおえた子供服などを出品するフリマを開催することで、子育て層の交流が生まれて、また、世代間の交流も生まれると考える。
5	防災訓練(かまどベンチ・マンホールトイレ等の活用)	防災ベンチがあるのは知っているが、どこにあるのか知らない。地域の公園で防災ベンチを使ったイベントがあれば人が集まるのではないか
みどり		
2	駅前にプランターを置いてみんなで管理する	最初の一歩は区の花と緑のサポーターの支援ありから(地区の縄張り意識が強いので) ⇒地域の子どもを巻き込む(学童・散歩中に管理)
2	プランターで野菜を育てて、収穫体験を行う	収穫体験は楽しい、その場で食べれるとなお良い(東向島駅前のプランターで寺島ナスを、地元有志と地元小学校などが協力して栽培している。)
2	花と緑のサポーターと協力して管理する	区のボランティア制度「花と緑のサポーター」と協働して取り組む
4	駅前にプランターを置いてみんなで管理	地元住民が駅まえにプランターを設置して、管理(種やプランターはエリマネ団体が行政が支給) 元々この地域では軒先にプランターを置き、ガーデニングを楽しむ文化が根付いていて、それを通してコミュニケーションが生まれていた。(基盤整備とともに衰退)再びその文化を駅まえに置くことで、地域で草花を管理していく過程を通じて、地域交流が生まれ、住民の手でまちに緑が増えていくと考える。
5	子どもの野外活動(花植え、野菜、果実の収穫)芝生や植栽等の管理	保育園に協力してもらい、プランターの管理をしてもらってはどうか
5	子どもの野外活動(花植え、野菜、果実の収穫)芝生や植栽等の管理	八広のレンタル花屋で使わなくなったプランターを配ってることがあったので、お願いすれば貰えるかも

グループ	活動アイデア	補足・備考
社会実験		
3	高架下を区切ってチャレンジショップやアンテナショップを展開	・高架下のスペースで小さく始めてみて空き家等にステップアップして展開していく ・向島等少し離れたところにあるお店や工場のアンテナショップを出して、本店まで来てもらう
3	区が補助金を出すなど支援する	
地域資源の顕在化		
3	駅前を通りがかりに回答できるような住民アンケートを実施	いろんなアクションを始める前に地域の声を聞くところから始める
3	向島の認知度やこのまちに何が必要かを聞く	
3	地元事業者に出店意向のアンケートを実施	
3	お薦めのお店や歴史資源などをシールで貼ってもらう	マップは数日～数週間貼っておき、その場に滞留できる場も作る
3	子どもマップや若者マップも作る	合わせて今回のWS成果の発信も行う
情報発信・情報交換		
3	工事の仮囲いを使って1のアンケート結果やWS結果の広報・PRを行う	
5	市民活動等の情報発信の場、地域の案内所	市民活動の掲示板なら、今すぐ作れるのではないか
5	事例を学ぶ	曳舟でやっている「すみだ青空市ヤッチャバ」の運営方法を勉強する
5	市民活動等の情報発信の場、地域の案内所	東武鉄道にデジタルサイネージを作ってもらい情報発信の協力をしてもらいたい
5		地元で使える空間あるということを口コミで広めていく
人的ネットワークづくり		
2	ボランティア団体の統括組織の協力を得る	墨田区にはボランティアを統括する組織があり、豊富なノウハウを保有している ⇒協働する
2	ノウハウを持っている人はいる	パレットを保有する民間企業や区内で活動する多数のボランティア団体などノウハウを持っているは多い
3	アンケート結果や歴史などをクイズ形式で出してみる	議員にも関心を持ってもらうことで実際の事業やイベントを進める際の推進力をアップ
3	若者中心に活動する	
3	区内の空き家に学生を誘致する	→区内の空き家に移住→区の税収アップにつなげる
3	面白い人を見つけたり参加者を募ったりして関わる人、プレーヤーを増やしていく	
その他		
2	ひとりひとりが「ありがとう」と言われる存在に	さまざまな人が参加できる環境づくりを
2	ルールは緩やかに	規制が多いと参加が難しくなるので、ルールは緩やかな方がいい
2	地元は活動を受け入れ・見守る	地元の人は活動を受け入れ・見守ってくれる人が多い
5		商店街を絡めたいが、この辺りに商店街が無い
5		ロータリーを封鎖する手続きはハードルが高そう